



# 成長可能性に関する説明資料

---

株式会社ビーアンドピー

## 目次

- 01 | 会社概要
- 02 | 事業環境
- 03 | 当社の強み
- 04 | 成長戦略



## 会社概要

社名	株式会社ビーアンドピー		
事業内容	大型インクジェットプリンターを使用した販売促進用の広告制作、インテリア等の生活資材・製品制作		
設立	1985年10月		
資本金	1000万円		
本店	大阪府大阪市西区		
事業所	大阪、東京、横浜、福岡		
従業員数	190名(2019年6月現在)		
経営陣	和田山 英一	代表取締役会長	
	和田山 朋弥	代表取締役社長	
	小林 恒文	専務取締役	
	清水 明	取締役	
	西端 雄二	社外取締役	元ノーリツ代表取締役専務執行役員
	峯垣 真介	常勤監査役	
	野村 祥子	社外監査役	弁護士 堂島法律事務所
鳥山 昌久	社外監査役	公認会計士 公認会計士・税理士鳥山事務所	



B & P  
ビジョン

インクジェット技術を世の中、日本社会、  
市民生活の発展の為に普及させる

企業理念

より良い働きを通じて全従業員の  
物心両面の幸せを創造し社会へ貢献しよう



代表取締役会長 **和田山 英一**

昭和50年 3月 関西大学法学部 卒業  
 昭和60年10月 和田山コピーセンター株式会社(現当社)設立  
 代表取締役社長就任  
 平成28年10月 当社代表取締役会長就任(現任)  
 平成28年11月 株式会社ニコール代表取締役会長就任



専務取締役 **小林 恒文**

昭和56年 3月 立正大学文学部 卒業  
 平成12年 2月 株式会社ビーアンドビー入社  
 平成14年 2月 取締役常務  
 平成28年10月 取締役専務(現任)  
 平成29年 3月 株式会社ニコール取締役専務就任  
 平成29年 5月 株式会社ニコール取締役社長就任



社外取締役 **西端 雄二**

昭和48年 3月 関西学院大学商学部 卒業  
 平成21年 9月 株式会社ノーリツ代表取締役専務執行役員  
 平成26年 3月 株式会社ノーリツ 退社  
 平成28年 8月 当社監査役  
 平成30年 1月 当社社外取締役(現任)



社外監査役 **野村 祥子**

平成 9年 3月 大阪大学法学部 卒業  
 平成12年 4月 弁護士登録 堂島法律事務所 入所(現任)  
 平成22年 4月 近畿大学法科大学院非常勤講師(現任)  
 平成26年 4月 大阪大学大学院高等司法研究科招聘教授(現任)  
 平成27年 6月 株式会社島精機製作所社外監査役(現任)  
 平成28年 4月 同志社大学法科大学院非常勤講師(現任)  
 平成30年 1月 当社社外監査役(現任)  
 平成30年 1月 株式会社神戸物産社外取締役(現任)



代表取締役社長 **和田山 朋弥**

平成17年 3月 関西学院大学商学部 卒業  
 平成20年 3月 株式会社ビーアンドビー入社  
 平成23年11月 取締役常務  
 平成26年11月 取締役専務  
 平成28年10月 代表取締役社長就任(現任)  
 平成28年11月 株式会社ニコール取締役就任



取締役 **清水 明**

昭和50年 3月 同志社大学法学部 卒業  
 昭和50年 4月 京都セラミック株式会社(現京セラ(株))入社  
 平成28年 3月 同社退社  
 平成28年 8月 株式会社ビーアンドビー入社  
 平成28年 8月 取締役財務担当就任  
 平成28年10月 取締役経営管理本部長(現任)



常勤監査役 **峯垣 真介**

昭和47年 3月 大阪大学基礎工学部機械工学科 卒業  
 平成28年 8月 当社監査役  
 平成29年 3月 当社顧問  
 平成30年 1月 当社監査役(現任)



社外監査役 **鳥山 昌久**

平成 4年 3月 同志社大学商学部 卒業  
 平成20年 8月 公認会計士鳥山事務所開設 所長(現任)  
 平成30年 1月 JTB印刷株式会社 社外監査役(現任)  
 平成30年 1月 当社社外監査役(現任)  
 平成30年 6月 株式会社ブレイク・フィールド社 社外監査役(現任)  
 平成31年 4月 株式会社アクティブアンドカンパニー 社外監査役(現任)

# インクジェットプリンター技術の進化と共に 独自のビジネスモデルで事業拡大を行っています。

- 1985** 創業者 和田山英一が和田山コピーセンター株式会社を大阪にて創業 コピーサービス事業を開始
- 1990** 大判カラープリントサービスを開始
- 1991** **株式会社ビーアンドピーに社名変更** 看板・ディスプレイの制作販売業務を開始
- 1996** **世界初の写真画質のインクジェットプリンターを導入**
- 2001** コピーサービス事業から撤退 インクジェット出力事業にサービスを特化する
- 2002** **東京営業所を開設**
- 2009** リボードディスプレイ制作を開始 エコ素材の什器を提供し顧客層を拡大
- 2010** 大阪市西区江戸堀に本社移転
- 2013** 広幅UV出力機 VUTEk GS5000r を国内初導入 **屋外向け広告市場に本格参入**
- 2014** **インターネット通販サイト「ハイプリント」運営開始**
- 2015** 東京都江東区に「江東事業所」を開設し、**昇華転写事業を開始**
- 2016** 代表取締役社長に和田山朋弥が就任  
**株式会社ニコールを買収 内装インテリア業界に本格参入**
- 2018** 3Dプリンタを導入 **3Dプリントサービスを開始**  
中長期的成長の実現と企業価値向上のため、株式会社ニコールを吸収合併  
江東事業所を横浜に移転 **「ワイドフォーマットスタジオ」**として事業拡大
- 2019** **福岡営業所を開設**

2011/10期

売上高  
**10億円**  
突破

2017/10期

売上高  
**20億円**  
突破

2018/10期

売上高  
**30億円**  
突破

# 2つのチャネル形態にてインクジェット出力事業を展開

## インクジェット出力事業 (単一セグメント)

売上高

**30.6億円**

\* 2018/10期実績

経常利益

**6.39億円** (利益率20.8%)

\* 2018/10期実績

## 2つのチャネル形態

販売促進用広告制作

売上高 **26.2億円**

POP・SPツール・屋外サインを  
主とした屋内外の広告物



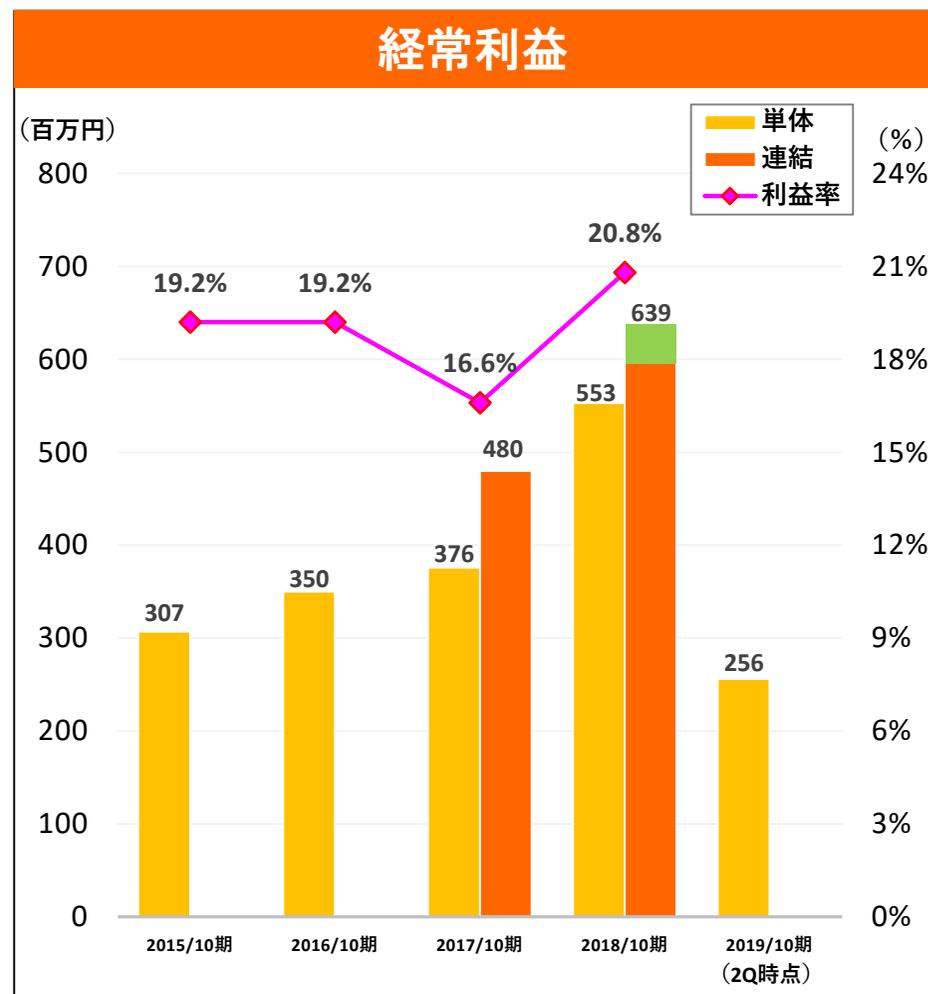
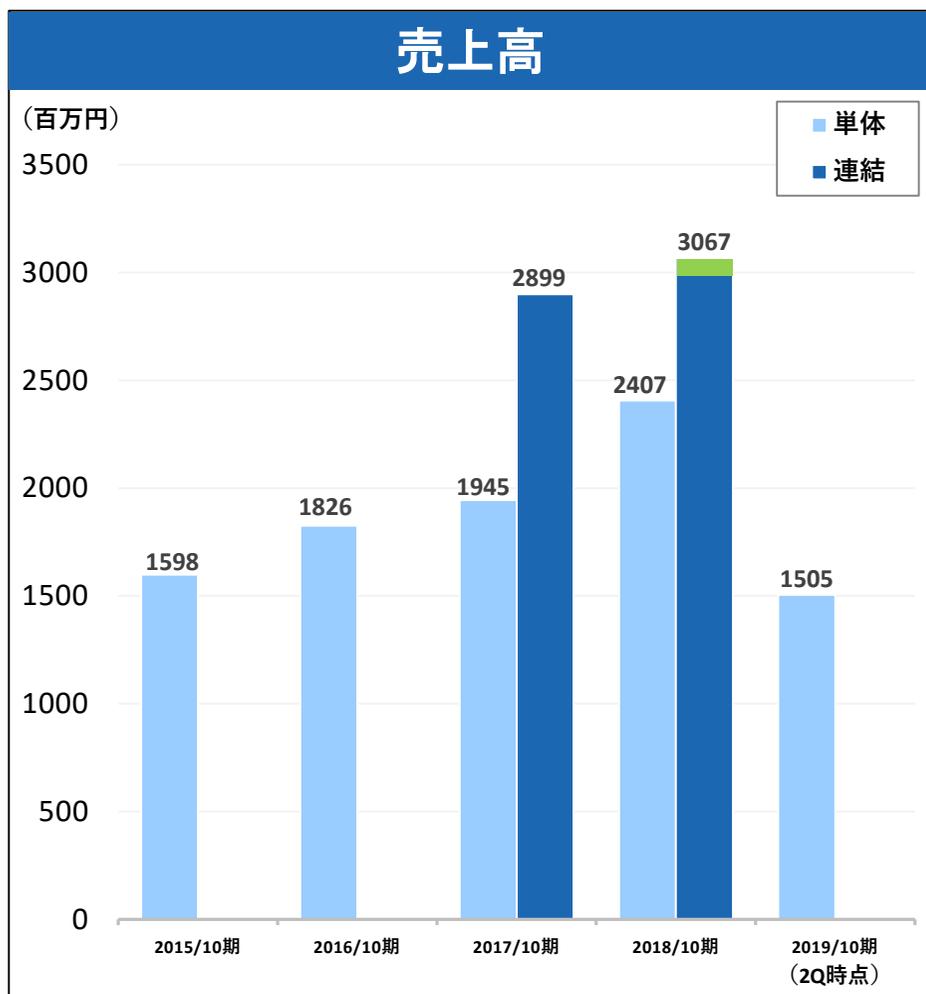
生活資材・製品制作

売上高 **4.4億円**

内装インテリア・カーテン等を  
主とした最終製品



## 高付加価値サービスにより、売上高経常利益率16%~20%を維持する。



\* 当社は2018年7月にグループ合併を行っております。2019/10期は単体での決算となります。

\* 当社は2018年に決算日を10月20日から10月31日に変更しております。

このため、2018年の業績には2018年10月21日から同年10月31日までの期間分が含まれております。(\* グラフ: 緑色部分)

決算期		2016/10期	2017/10期	2018/10期	2019/10期2Q
売上高	(千円)	1,826,457	1,945,191	2,407,247	1,505,647
経常利益	(千円)	350,658	376,430	553,353	256,843
当期純利益	(千円)	253,728	197,645	543,562	177,287
資本金	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000
発行済株式総数	(株)	200	200	2,000,000	2,000,000
純資産額	(千円)	1,204,233	1,341,878	1,825,441	1,902,728
総資産額	(千円)	1,477,966	1,784,135	2,451,557	2,441,963
1株当たり純資産額	(千円)	6,021,165.76	670.93	912.72	951.36
1株当たり配当額	(円)	300,000	300,000	50	-
1株当たり当期純利益	(円)	1,268,641.97	98.82	271.78	88.64
自己資本比率	(円)	81.48	75.21	74.46	77.92
自己資本利益率	(%)	21.48	15.53	34.32	9.51
配当性向	(%)	23.6	30.4	18.4	-
従業員数	(人)	116	124	173	190

\* 当社は2018年に決算日を10月20日から10月31日に変更しております。  
 このため、2018年の業績には2018年10月21日から同年10月31日までの期間分が含まれております。  
 \* 従業員数の2019/10期(第二四半期累計)の数字は2019年5月末時点のものです。

決算期		単体 2016/10期	連結 2017/10期	連結 2018/10期	単体 2019/10期2Q
売上高	(千円)	1,826,457	2,899,247	3,067,197	1,505,647
経常利益	(千円)	350,658	480,021	639,124	256,843
当期純利益	(千円)	253,728	277,139	464,069	177,287
資本金	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000
発行済株式総数	(株)	200	200	2,000,000	2,000,000
純資産額	(千円)	1,204,233	1,421,372	-	1,902,728
総資産額	(千円)	1,477,966	2,097,826	-	2,441,963
1株当たり純資産額	(千円)	6,021,165.76	710.68	-	951.36
1株当たり配当額	(円)	300,000	-	-	-
1株当たり当期純利益	(円)	1,268,641.97	138.56	232.03	88.64
自己資本比率	(円)	81.48	67.75	-	77.92
自己資本利益率	(%)	21.48	-	-	9.51
配当性向	(%)	23.6	-	-	-
従業員数	(人)	116	176	173	190

\* 当社は2016年11月1日に株式会社ニコールを買収した為、2017/10期は連結財務諸表を作成しております。

また2018年7月21日に株式会社ニコールとグループ合併を行った為、2018/10期は連結貸借対照表は作成しておりません。その為、純資産額・総資産額等は記載しておりません。

\* 当社は2018年に決算日を10月20日から10月31日に変更しております。

このため、2018年の業績には2018年10月21日から同年10月31日までの期間分が含まれております。

\* 従業員数の2019/10期(第二四半期累計)の数字は2019年5月末時点のものです。

大阪・東京・横浜・福岡の都心部にプリンターを設備  
24時間生産体制で出力サービスを行っています。



# 商品ラインナップ

店頭用ディスプレイ



イベント告知ポスター



店舗案内看板



ビル壁面垂れ幕



商品展示用ダンボール仕器



のれん・旗・布地の広告物

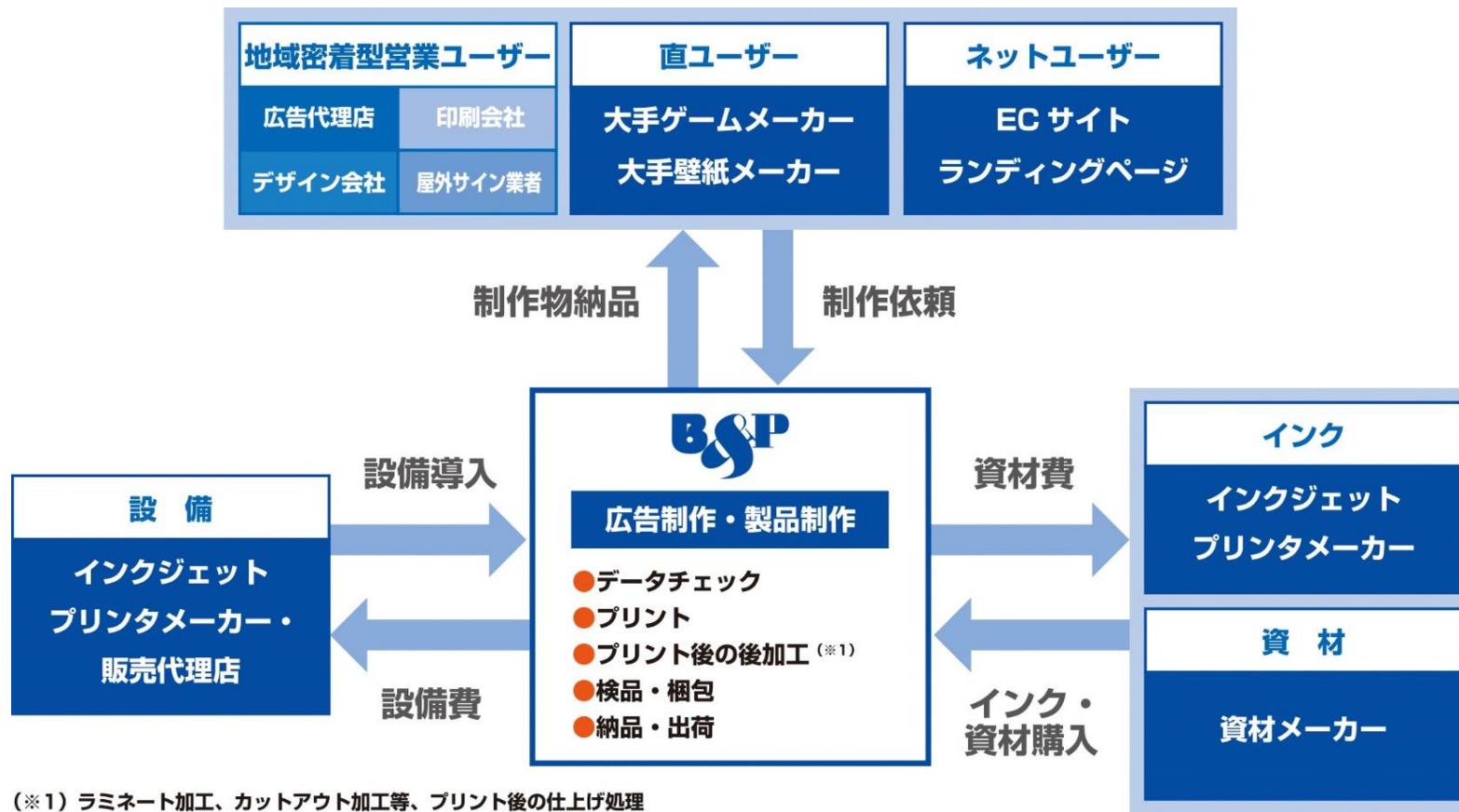


3Dプリント出力サービス



インテリア壁紙





(※1) ラミネート加工、カットアウト加工等、プリント後の仕上げ処理

運営サイト



ECサイト運営



ランディングページによるネット集客

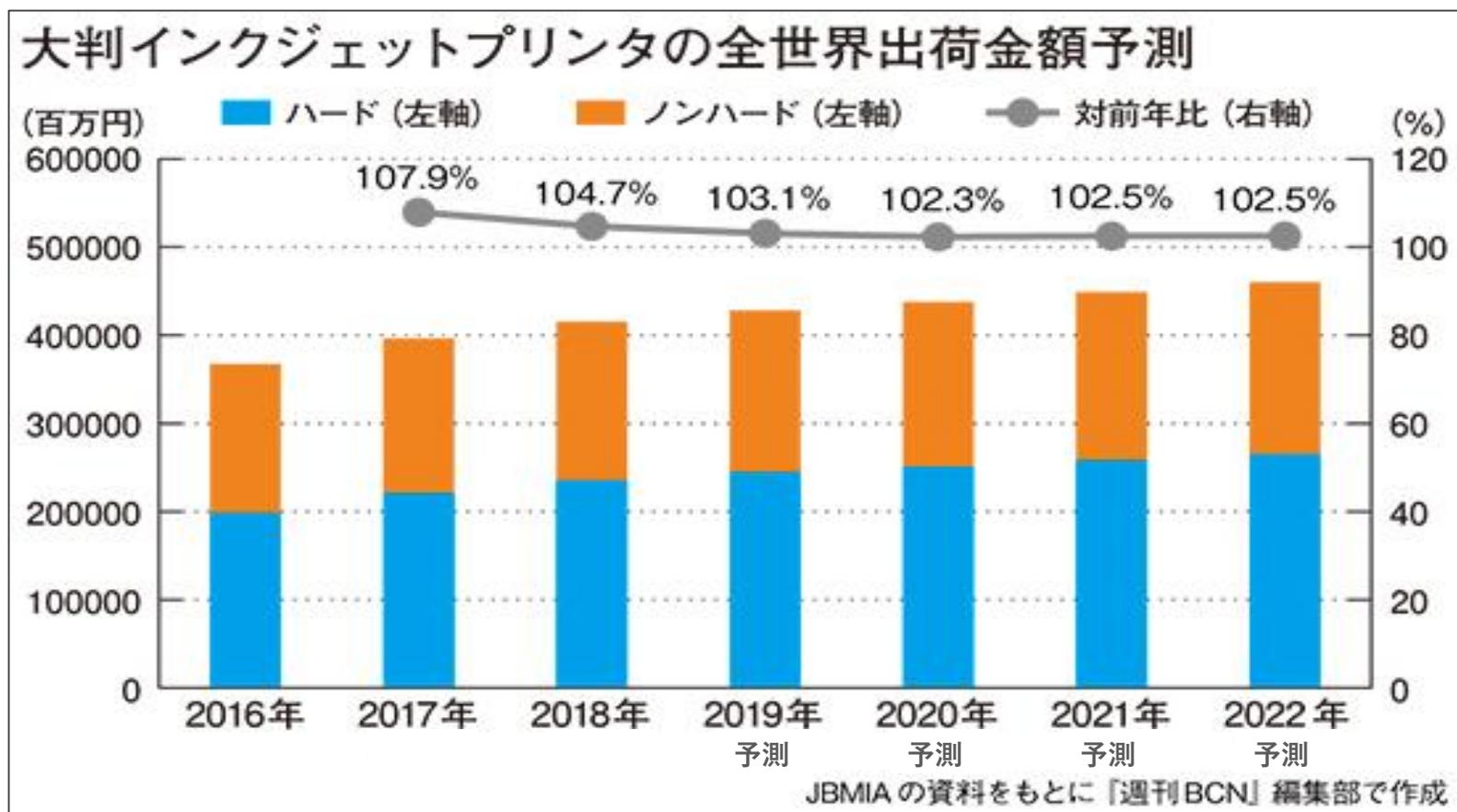




事業環境

# 大判インクジェットプリンタの世界市場

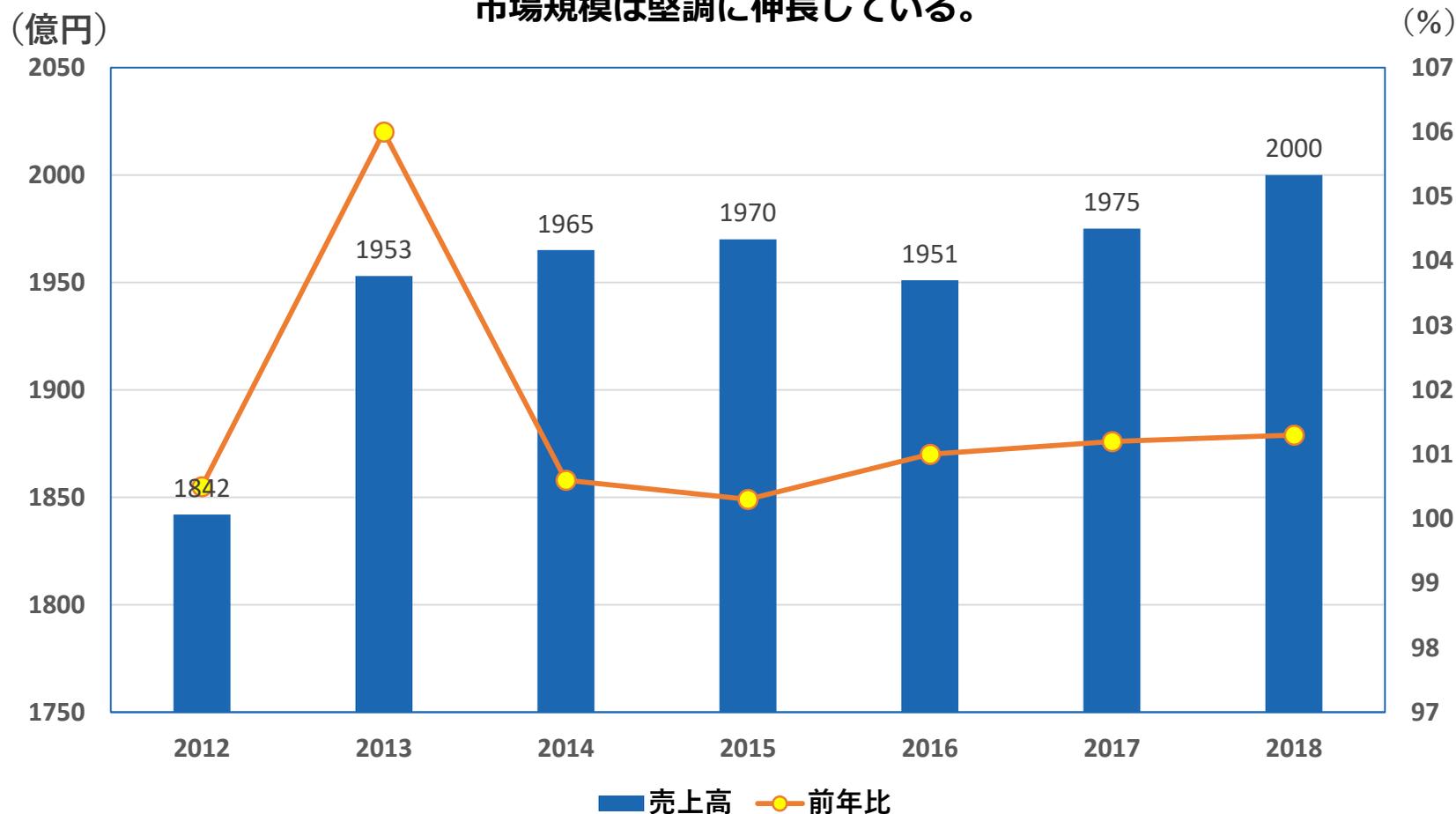
世界市場規模は約4000億円で、2022年まで年率3%程度の成長が見込める。  
日本市場でも2020年の東京五輪、2025年の万国博覧会など、国際イベントが大判インクジェットプリンタ市場の活性化の追い風になると期待できる。



# POP広告の国内市場

2018年度のPOP広告の売上は2000億円（前年比101.3%）

市場規模は堅調に伸長している。

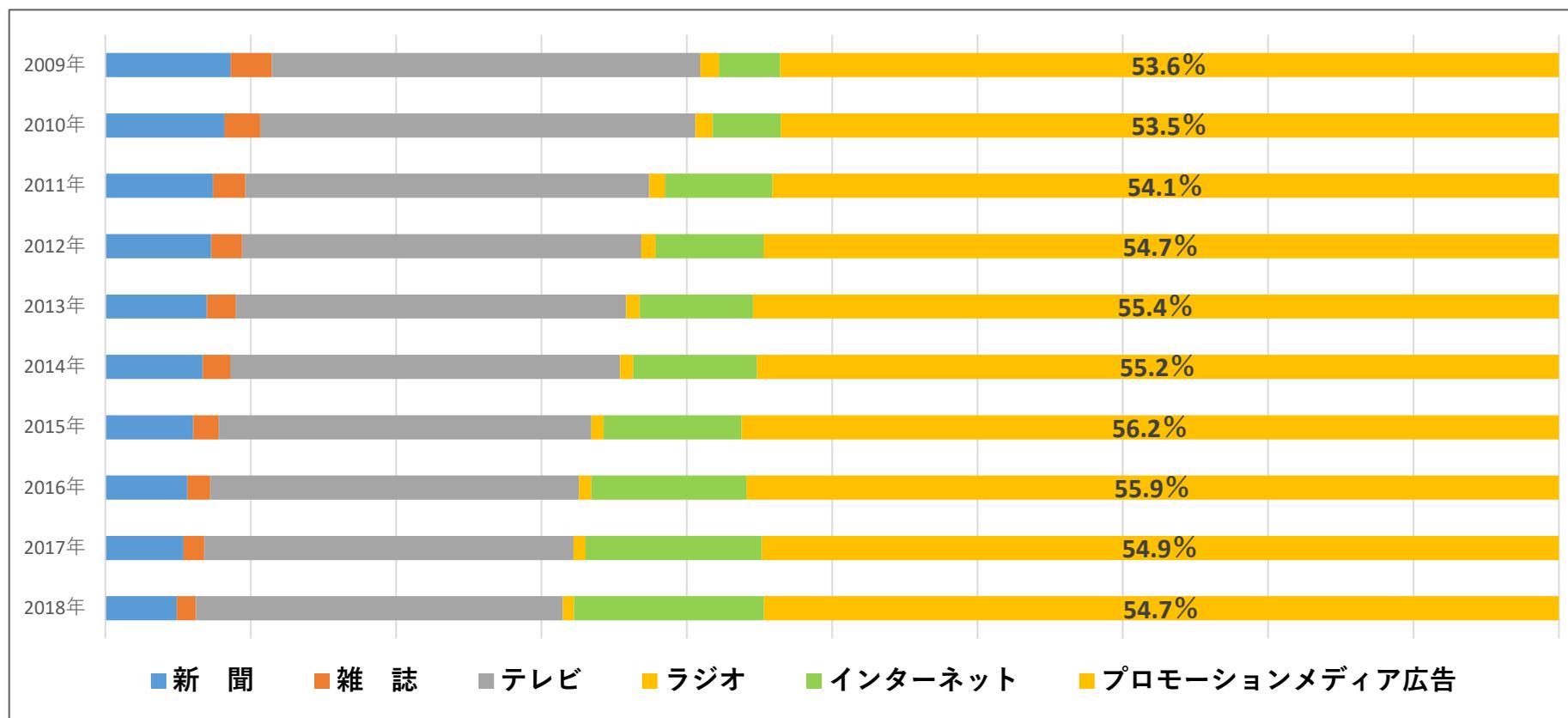


Source : 2018 日本の広告費 電通

©2019 B&P Co.,Ltd. All rights reserved

# プロモーションメディア広告構成比

ビーアンドピーが制作しているプロモーションメディア広告市場は、ネット広告の台頭による影響を受けずに、堅実に成長している。

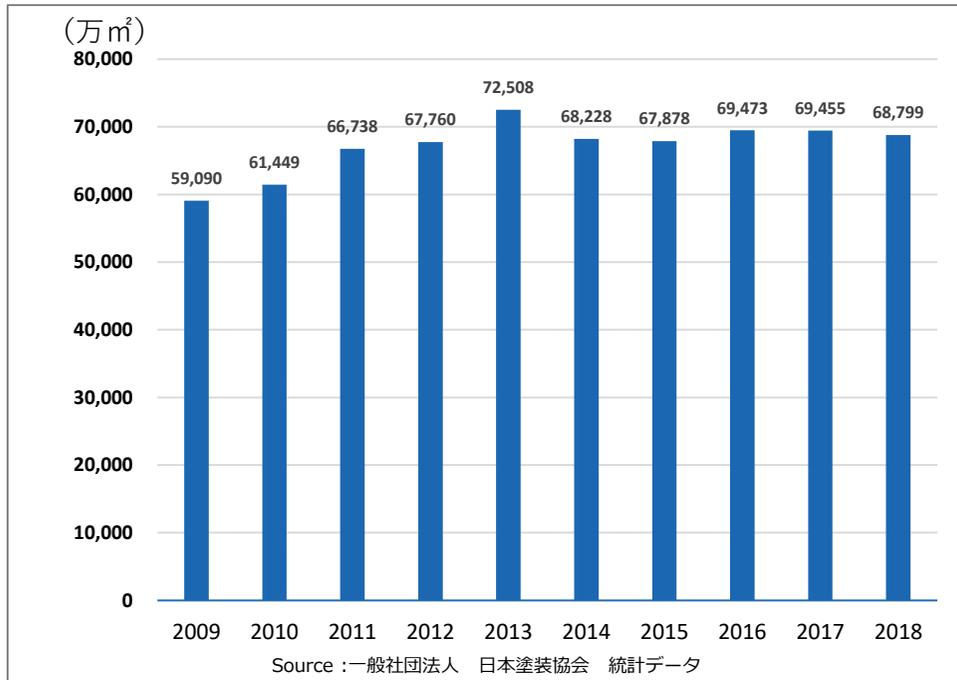


Source : 経済産業省 特定サービス産業動態統計調査

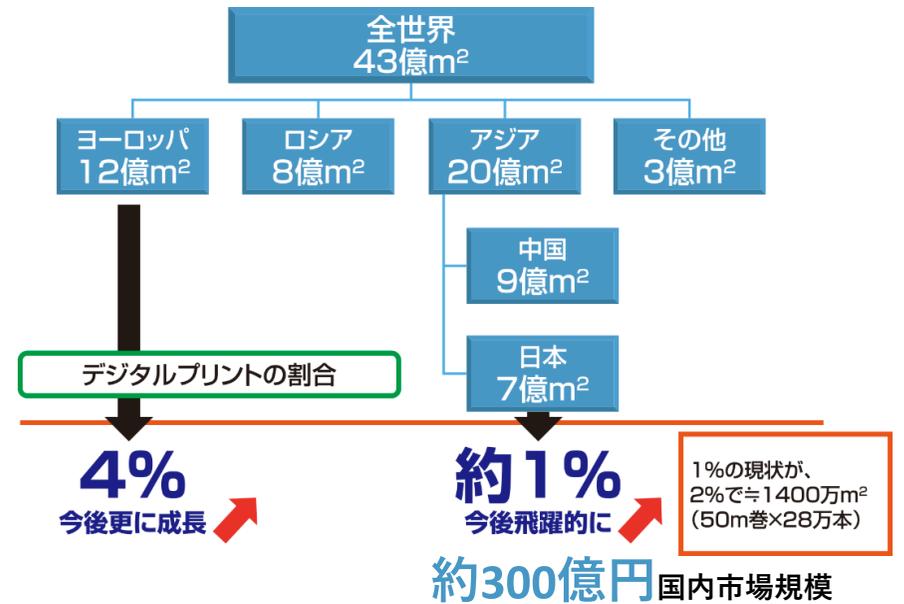
# インテリア内装壁紙の市場規模

一般消費者のリフォーム・リノベーション需要の増加により、インテリア内装壁紙市場は拡大していく。  
国内の壁紙出荷量は10年前から大幅な増加はないが、今後デジタルプリント壁紙の普及が見込まれる。

■日本国内の内装壁紙出荷量



■世界の壁紙市場規模 デジタル壁紙の普及が加速



通常のビニール壁紙

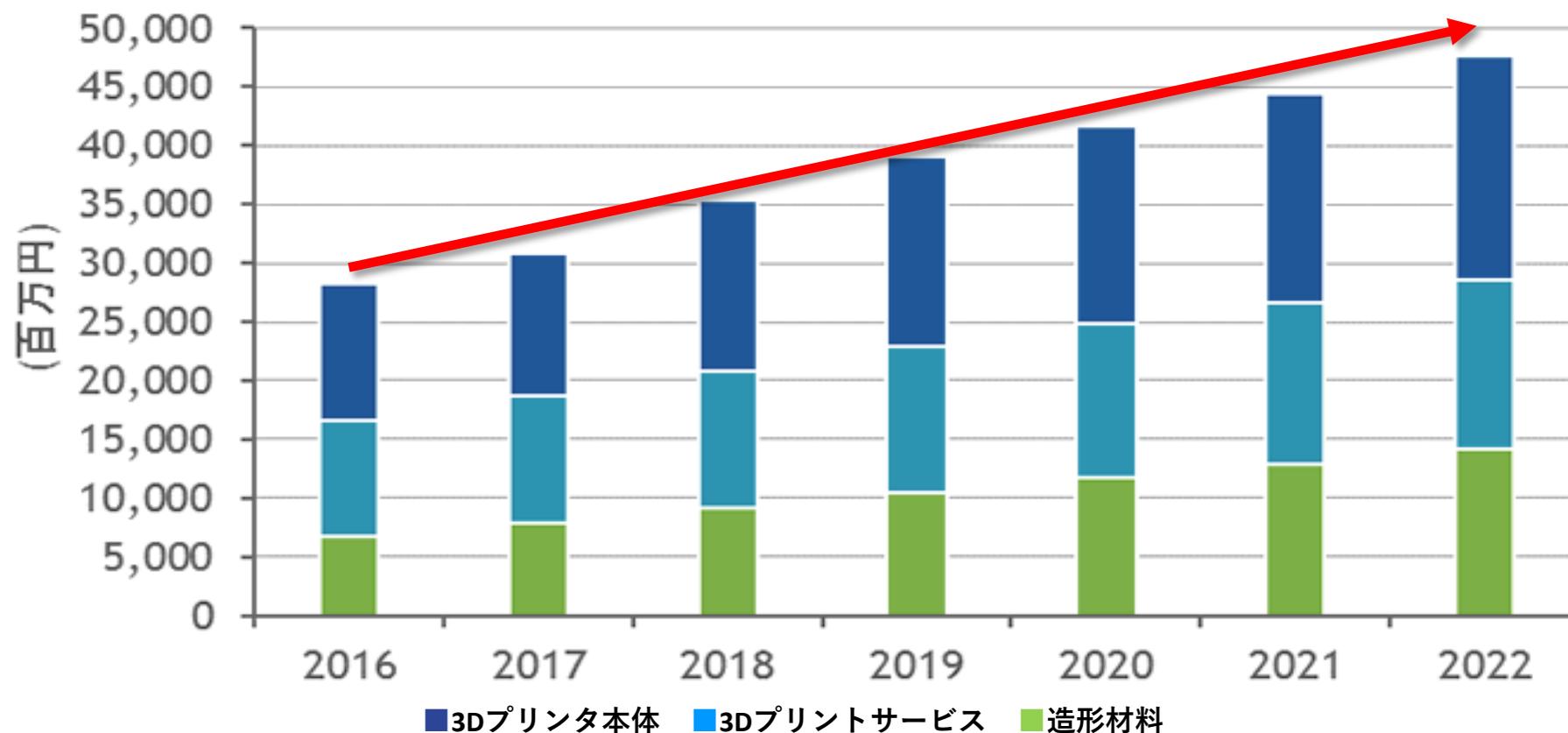


デジタルプリント壁紙



# 3Dプリントの市場規模

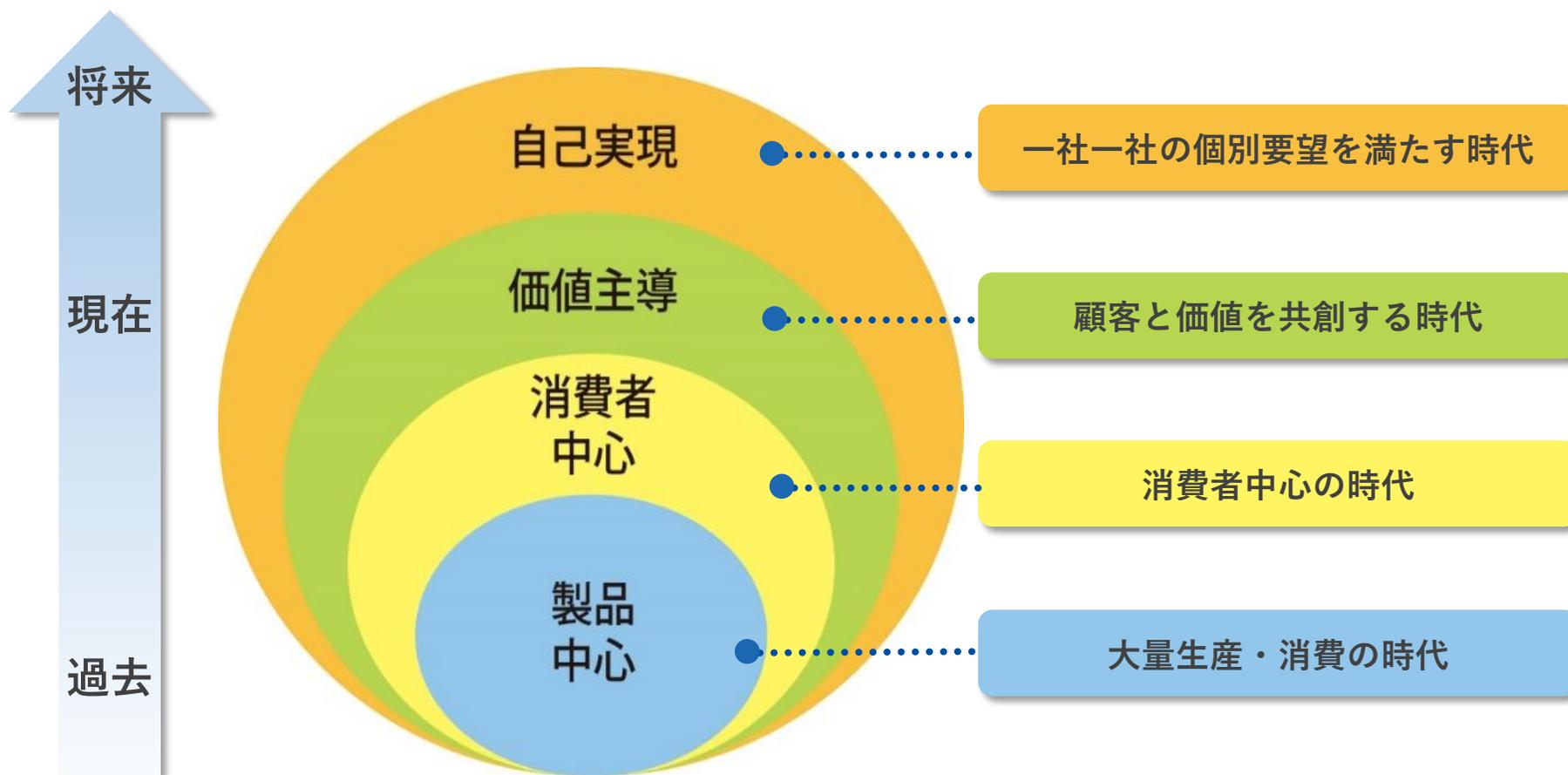
2020年の国内3Dプリント市場の総売上額は400億円を予測。  
2022年の国内市場規模を**476億円**と予測し成長を見込める市場である。



Source : 2018年7月 IDC Japan

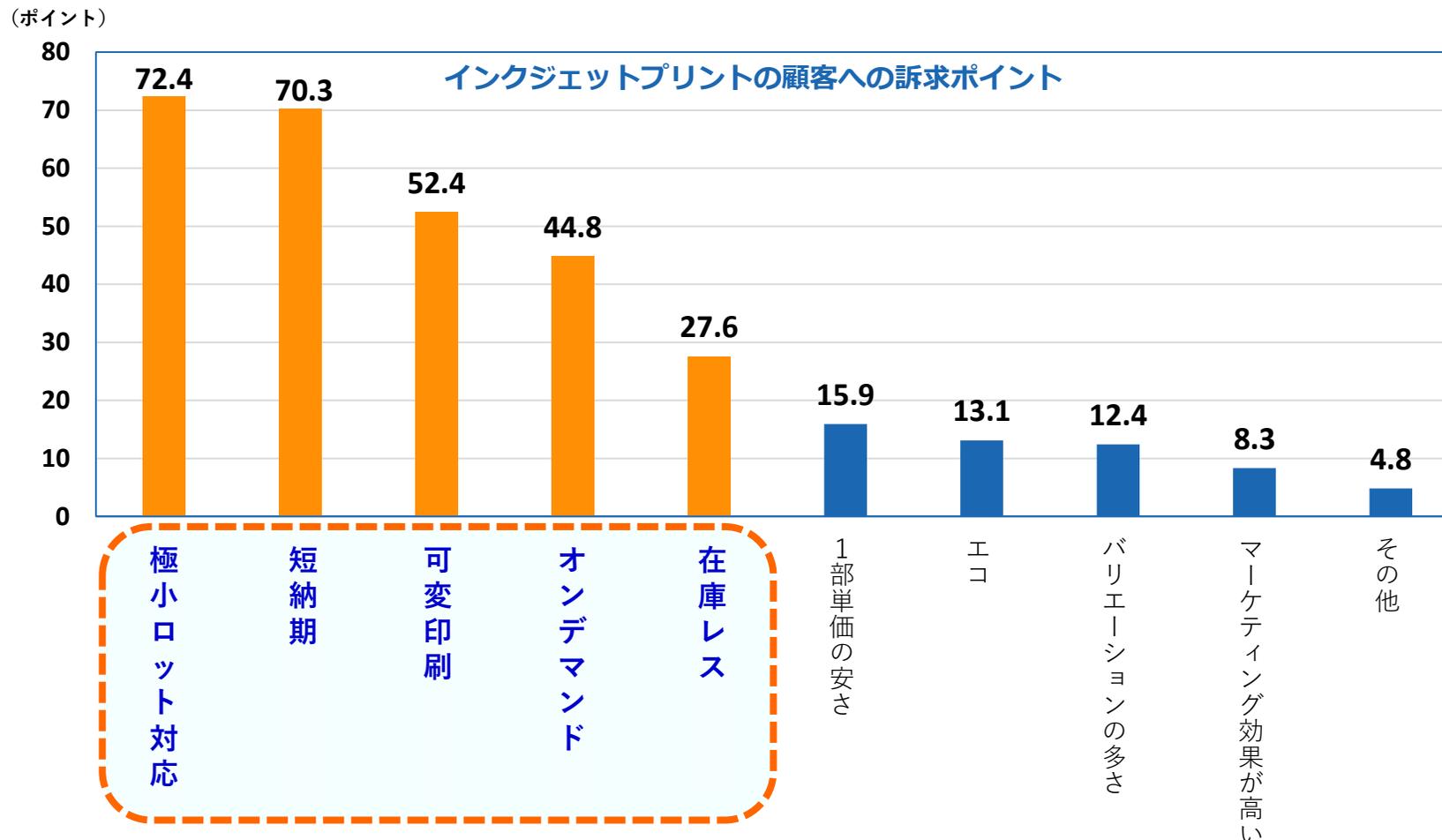
# マーケティングへの時流適合

広告業界では『刻々と変化する顧客のニーズにビジネスモデルや商品を合わせる』ことが求められています。また、内装インテリア業界や3Dプリント業界にも多品種小ロットへの顧客要望志向が強まってきています。当社は業界の課題を解消するために、インクジェット技術を軸に時流に合ったサービス展開をしていきます。



# 変化するプリント事業環境に時流適合する

広告分野に続き、インテリア市場、産業分野においても多品種小ロット型思考がより一層求められる時代になっていくと考えられる。



Source : 2018年3月 日本印刷産業連合会 デジタル印刷に関する調査

# インクジェットの特徴が業界の課題に対応

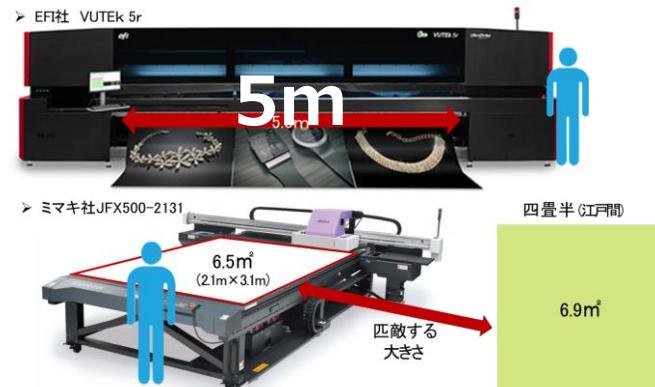
## 極小ロットに対応

必要なものを必要なだけ制作できるため  
余分な在庫をかかえる必要がない



## 多様なサイズに対応

最大5m幅までのメディアに印刷できます



## 短納期に対応

版作成不要のため超スピード対応が実現可能



## 紙以外にもプリント可能

アクリル、木材、布地等あらゆるものにプリントが可能

